巻頭論文

生産技術への拘り—生産技術の復権—

強い製造業の復活にはサプライチェーンマネジメントに代表されるITの活用が不可欠であるが，ここでは，もっと原点に近い“もの作り”に焦点を当て，考察した。

お客様から見て”いいものを，安く，早く”を実現し，かつ，日本の製造業の海外流出を防止するには，

（1）設計の標準化による，設計工数と部品点数の削減（余剰工数は新製品・新技術開発へ）
（2）設計技術・製造技術・現場の知恵の融合（製品の再設計＝生産設計の加速）
（3）技術者の現場回帰促進（製造の難しさを設計的視点で改善）
（4）現場の実態に合わせた管理技術・管理ツールの整備（理想形のみを追求するバーチャルな世界からの脱却）

等が挙げられる。

このような活動を通じて，三菱電機は製造業のあるべき姿を追及し，国内生産を維持する技術開発・製品開発を推進しており，幾つかの具体例を紹介する。

東 健一＊　＊生産技術センター長